

テーマ	A. 京（みやこ）を学ぶ
制度種別	単位互換
科目コード	A002
科目名	遺産情報演習 I（b）
英文科目名	
開講大学名	京都橘大学
連絡先	学務第1課 TEL:075-574-4324 FAX:075-574-4134
担当教員	登谷 伸宏（文学部歴史遺産学科助教）
開講期間	2017年04月08日（土）～2018年01月29日（月） 3～5講時 13時00分～17時50分（土曜日・日曜日） ※日曜日に授業を実施する日もあるため、詳細は講義スケジュールを参照のこと
単位数	2
開講形態	通年
授業形式	対面授業(プラザ)
受講料（単位互換履修生は不要）	
履修年次	2回生以上
会場	キャンパスプラザ京都、他
授業定員	20
単位互換定員	7
京カレッジ定員	0
試験・評価方法	授業中課題（60%）授業中発表等（20%）参加度（20%）
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	
パッケージ科目	
低回生受講推奨科目	
講義概要・到達目標	<p>【テーマ】 醍醐寺の資産を観察・調査し、パブリックな取り組みへの提案を模索する。</p> <p>【授業の到達目標】 醍醐寺には、京都最古、天曆6年（952）建立の五重塔をはじめ、各時代に建てられた堂宇が数多く存在する。広大な境内では、2月に「五大力尊仁王会」4月に「豊太閤花見行列」が毎年行われることは著名である。さらに、醍醐寺のもつ歴史文化資産を起点に子どもから大人まで親しめる「醍醐寺てらこやプロジェクト」や中・高校生、大学連携プログラム この演習ではまず醍醐寺の資産を知り、その全容を観察・把握、まとめ、理解する。つぎに、それらを分析することで、その価値を広く周知・活用するための活動を提案するとともに、その資産のパブリック化を試みる。そして、演習を通して、活動プログラム内容の充実や広報面などの提案を行う能力を身につけることを目指す。</p> <p>【授業の概要】 この演習では、まず「文化遺産」の文化資産群について、観察・調査する。つぎに、それに関わろうとする人たちに、醍醐寺への支援や子ども・地元の人たちへの深い理解の促進、それを行うための経験者への働きかけをうながす方策を考えだすことを目指す。</p>

実際には、醍醐寺の文化遺産の資産の「パブリック化」活動の中味をより広く周知することの実地学修となる。現在境内に広がる文化遺産の観察やヒアリング等を行い、さらに周辺に向けてより広く世界遺産の資産をパブリック化する活動課題について醍醐寺関係者と発見し、より深く関わりたい人たちを誘発する新たな活動のアイデアなどを探っていく。

【準備学習（予習・復習）】

随時、授業展開に合わせて醍醐寺の情報を得るとともに現地観察及び調査を行う。

講義スケジュール

第01回 醍醐寺境内の観察

第02回 インタビュートレーニング 5月13日（於：キャンパスプラザ京都）

第03回 全体オリエンテーション 5月28日（於：キャンパスプラザ京都）

第04回 世界遺産醍醐寺プロジェクトについてインタビュー（於：醍醐寺）

第05回 醍醐寺インタビューのまとめと課題発見、調査計画の立案 6月24日（於：キャンパスプラザ京都）

第06回 境内の文化資産の観察調査と記録調査（於：醍醐寺）

第07回 境内の文化資産の観察調査と記録調査（於：醍醐寺）

第08回 資産のパブリック化に向けてのプロジェクト活動案の集約と分析 8月26日（於：キャンパスプラザ京都）

第09回 世界遺産醍醐寺プロジェクトのパブリック化に向けての調査項目の集約（於：醍醐寺）

第10回 世界遺産パブリック化のモックアップを作成し、境内などでのインタビュー調査（於：醍醐寺）

第11回 モックアップなどの評価を分析して提言案をまとめる 10月21日（於：キャンパスプラザ京都）

第12回 プレゼンテーションの準備・プレゼンテーショントレーニング（レクチャー編）

10月下旬（於：キャンパスプラザ京都）

第13回 プレゼンテーションの実践（於：京都橘大学）

第14回 世界遺産パブリックに対する提言発表（成果発表会） 12月10日（於：キャンパスプラザ京都）

第15回 報告書の提出と互いの報告書に対する討議 12月10日（於：キャンパスプラザ京

教科書

特になし

参考書